

シンポジウム日程・広報（案）

1 シンポジウム日程（案）

13時30分	講師会場入り、保育ルーム受付開始、参加者受付開始
14時00分	(1) 開会
14時01分	(2) 主催者あいさつ 聖籠町長 渡邊 廣吉
14時05分	(3) 基調講演1「生涯活躍のまちの役割・国、自治体の動向」 講師：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
14時45分	(4) 基調講演2「生涯活躍のまち先進事例紹介」 講師：社会福祉法人湧子園シェア金沢 施設長 奥村俊哉 氏
15時15分	(5) 報告「聖籠町版生涯活躍のまちの方向性」 聖籠町生涯活躍のまち構想研究会 会長 窪田昌行 氏
15時45分	(6) 質疑応答（自由意見交換）
16時00分	(7) 閉会

2 周知方法

① チラシA4サイズ作成（6,000枚）

町内集落全戸配布、関係団体（まちづくり創生大学、商工会、区長会、老人クラブ、町議会議員、各種協議会等）へ参加依頼文と併せてチラシ送付

② ポスター作成（100枚）

町内公共施設及び協力事業所に掲示

③ 防災行政無線による広報

12/3（土）～12/11（日）の間において、朝・夕の定時放送で広報

シンポジウム報告内容（案）

1 趣旨

12/11（日）開催予定の「生涯活躍のまち住民シンポジウム」において、当研究会で調査・検討してきた内容を報告する。

2 報告者

聖籠町生涯活躍のまち構想研究会 会長 窪田 昌行

3 対象者

シンポジウム参加者（一般町民）60～80名程度の見込み

4 所要時間

30分程度

5 報告内容（案）

<研究会立ち上げ趣旨>

町と研究会の立場を明確に説明、委員構成メンバーの分野紹介

<調査・検討内容の概要報告>

移住希望者アンケート調査結果概要

構想導入の場合のメリット・デメリット整理

これまでの研究会での意見紹介

仮に構想導入する場合のコンセプト

今後の研究会スケジュール